天一閣博物館館長招聘状（全文訳）

七類堂天谿先生

先生は日本画聖・雪舟等楊の第十七代にして正統嫡傳の人です。先生は雪舟画系の芸術の精神を確実に現代へ守り継ぎ、精ら水墨彩色画法において優れ、その実力は深厚の境地に底（イタ）って素晴らしく、日本画壇に在ってあきらかに傑出した存在でおられます。

寧波は天下に名高い景勝明媚の地であり、また太古の昔より港口城市として栄え、日本との交流往来の歴史も実に古く盛んでした。天一閣はアジアに現存する最古の木造蔵書楼であり、四百四十有余年の歴史を有する文化財です。

この度私は、私ども天一閣博物館『雲在楼』へ先生をお招きし、先生の個展を万全に開催出来ますことをつとに願い、ここに招聘いたします。

また、この度の個展は天一閣において、日本人として行われる初めてのものであり、中日両国人民の文化交流が未来へ向け更なる前進の一歩となります事を希望しています。

まさに中日両国人民の世々代々の友好が永続されんことを願っております。

恭祝合家快楽

寧波市天一閣博物館
館長　虞浩旭　敬邀
己丑新春於寧波

七類堂天谿（しちるいどうてんけい）プロフィール

1961年	広島県尾道市生まれ
1982年	大阪芸術大学在学中に道釈画の研究開始
1983年	大阪芸術大学芸術学部美術科シュールレアリスム専攻学科卒・東洋画に転向
1990年	第31回日本南画院展初出品入選（以降連続入選）
1994年	日本南画院本部佳作賞・日本南画院会員推挙
1995年	臨済宗大本山佛通寺207世第5代管長璞翁宗訓老大師に師事・参禅
1998年	アトリエ「鴉笑舎」（あしょうしゃ）開設
2002年	道釈人物画の「破墨法」復興・「破墨十五撰」発表
2003年	「篩月法」（しげつほう）完成・「篩月九撰」発表
2005年	中日現代国際美術展招待出品・訪中・中国美術学院視察
	西冷印社社長劉江老師より「雪舟後孫」印拝領
2006年	スペイン国立プラド美術館永久収蔵「風花雪月四聖清閑図」
	中国「雪舟圓寂500年式典」に招待・訪中
	天童寺臨済宗第49代方丈雪山誠信禅師より「天童第一座」称号を賜下
2007年	天台宗大本山国清寺第184世座主可明大和尚より「天台大佛師」称号拝命
	径山萬寿寺定康大和尚より「牧谿伝人」印拝領
	鎮江金山寺臨済宗第48代方丈鏡観心澄禅師より「雪舟再来」印拝領
	京都臨済宗大本山相国寺132世第7代管長有馬頼底老師御染筆の栄に浴す
2008年	相国寺派管長有馬頼底老大師より「天谿」号拝領・以後是を本号とす

後援会からのお知らせ

七類堂天谿先生の後援会「天谿会」では、雪舟以来の日中文化交流となる「七類堂天谿畫展」を現地で観覧するため、旅行会社さんを通じて研修旅行を行います。中国の文化を担う要人と太いつながりを持つ七類堂天谿先生のご縁により、開幕レセプションパーティーで中国側文化人との交流会を持ち、来賓として天童寺を訪れ、東洋の印学書法研究の総本山として世界的に知られている西冷印社などの一流文化施設を視察する予定です。天谿会では、ごいっしょに画聖雪舟の感性を育んだ原風景に触れ、芸術（水墨画、仏教美術など）、歴史、文化をともに学ぶ、ご入会者をお待ちしております。

お問い合わせ先

天谿会事務局　広島県尾道市新浜 1-14-31　㈲備後レポート社内
℡(0848)22-2214　fax(0848)23-2721

研修旅行企画実施：日本通運㈱大阪旅行支店営業第１課　℡06-6231-0303